

# 諫早湾干拓を視察

私が所属する民主・市民クラブは、5月30日(火)に完成間近の「諫早湾干拓事業」の現地調査を実施しました。この調査は、「諫早干拓事業は優良農地が少ない長崎県に優良な農地をもたらす、防災面での事業効果も大きい」とことから、民主党長崎県連が積極的に推進しているのに対し、民主党本部は「公共事業に対する見解」から若干スタンスが違っており、民主党長崎1区総支部に所属する長崎市市議団として、まず事業の実態を見ようというこ



北部排水門をバックに！



現地調査を行う市議団

しました。

調査内容として、諫早干拓事務所での計画概要や事業の進捗状況の説明を受け、潮受け堤防に設置している北部排水門や7,050mの潮受け堤防、中央干拓地造成地の調査を行ないました。規模の大きさや農地の広大さを見て北海道を見るような錯覚にとらわれました。

最後に、県総合農林試験場干拓科を訪問し、多種、多様の野菜の試験栽培の状況を調査し、この土地が干潟だったことからミネラルが多量に含まれた優良な土地であることの説明を受けました。この事業に対しては、賛成、反対など、それぞれの立場から様々な意見がありますが、実際に現地を見て感じることは重要ではないかと思いつながら視察を終了しました。

# 観光振興特別委員会報告



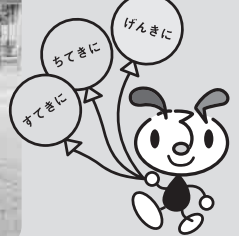
長崎市議会観光特別委員会は「長崎さるく博'06」を県内各地の皆さんが、気軽に出席していただくように5月26日(金)県内各市の議会に対して参加の案内を行いました。

当日は、長崎市議会議長の趣意書を手渡し、さるくPRと合流してパンフレット配布のPR活動も行ないました。

県内の市役所を訪問し「さるく博」の案内を行いました。(写真は佐世保市)



佐世保市4か町アケードで市民向けPRキャンペーン活動を実施。



# おもいよりの長崎



長崎市議会議員

# 西田みのぶ

だより

No. 15

平成18年8月 発行責任者 新屋 貴憲  
長崎市水の浦町1の1 Tel 095-861-6032



# のぶ後援会役



木庭吉昭後援会会長  
(株)丸金佐藤造船鉄工所  
代表取締役社長



西田みのぶ後援会役員総会

# 平成19年統一地方選挙 勝利に向け後援会総会開催!

暑中お見舞い申し上げます  
夏真っ盛りの中、皆様お元気でお過ごしでしょうか。世界中が歓声で沸いたワールドカップサッカー大会もイタリアの優勝で終了したものの、決勝戦でのジダンの退場劇、日本は予選敗退と中田英寿選手の引退など、予想外のことがばかりで残念な思いでした。残念といえば北朝鮮のミサイル発射。日本人拉致問題も棚上げにしたまま、自分たちの理屈が通らないとなるや、武力による脅しのような行為は許されるものではなく、国家を守るという意味でも、日本人として毅然たる態度も必要だと考えます。

## 6月議会での登壇

6月の定例議会では、私は5度目の登壇をしました。今、日本では信じられない事件が後を絶えません。親子の血の争い、幼い子供が犠牲になる事件、一部の教師の不祥事などなど。事件の要因は様々ですが、便利で汗を流さなくても、いろいろな物や情報が入る世の中の裏側で、大人としての責任の重さ、人をおもいやるやさしさなど、人間としての自覚が失われているような気がします。登壇では、私たちが癒してくれる動物たちを大切に、安全で安心して暮らせる街づくりの観点から質疑を交わしました。

## 来春の地方選挙に向けV2誓う

さて、6月28日(水)「西田みのぶ後援会役員総会」を開催しました。約200人の後援会役員皆様参加の中で、来年4月の統一地方選挙「V2勝利」に向けての誓いを新たにしました。今後何かとお世話になります、ご支援ご鞭撻をよろしくお願致します。

長崎市議会議員

西田みのぶ

# 長崎市議会議員 西田みのぶ

ご相談は  
お気軽に



後援会事務所  
長崎市網場町301-18  
Tel & Fax 095-839-6269  
生活相談室 095-861-1985

この用紙は再生紙を使用しています。

# 編集後記

▼熱狂したワールドカップサッカー大会！ジーコジャパンは、惜しくも1次リーグ敗退となつてしまいました。残念！さらに驚いたのは、「中田選手引退」の速報！選手として、まだまだ盛りでの引退ですよね。惜しい！  
自分の中に、しっかりと自身の哲学があつて、世界標準と自身の対比の中で自らを評価しての決意の表明だったのでしよう。  
やっぱり、人生と言うのは長い/短いでなく濃さ？って言うか「生きざま」なんだって感じたのは私だけでしょうか？「生涯〇〇一筋」なんて言う方を良くするけど、それは長く続けるってことじゃ無くて「一途に完全燃焼する」ことなんだ！と実感しました。  
来春はいよいよV2の戦いがあります。「人生」を賭けてこの戦いに臨みましょう！みんなの力で！



質問項目

1. 動物ひろばについて
  - (1) 稲佐山公園動物ひろばの考え方
  - (2) 長崎公園動物ひろばの充実
  - (3) 青少年の育成について
  - (4) 子どもを守るネットワーク活動
2. 住宅用火災警報器の設置について
3. 既存住宅への周知方法
4. 弱者への市の助成の考え方
5. 交通行政について
6. 矢上大橋有料道路無料化の推進状況



《答弁》(伊藤市長)

「子どもを守るネットワーク」は、長崎市内の全小学校区を立ち上げ、このような形にしたのは全国的にも珍しい。今後は中身の問題が大事であり、種々の反省点を確実にクリアーしながら、子供に視点を置いた形の地域の活性化および密なる人間関係を目指していく。具体的には

- (1) 毎年各学校で「特色ある学校」への報告書を作成しているが、今年度は「子どもを守るネットワーク」各地区の、特色ある活動のレポートをまとめて情報交換を行ない、横の連携を密にしたい。
- (2) 空き交番や空き派出所に、それぞれネットワーク拠点を作っているが、馴染んでいた安心・安全のシンボルが無くなった対応策や、その活用策を今後関係機関及び関係



【質問1-1】  
現在猿21匹、鹿80頭が飼育されている「稲佐山公園の動物ひろば」は、「今後廃止する方向で取組む」とあるが今後の取組み計画は。  
また、猿舎や鹿舎の案内板や名前、生態などの説明板が現在設置していないが、廃止であろうと必要と思うが設置する考えはないのか。

《答弁》(道路公園部長)

平成16年3月に動物ひろば検討協議会からの報告書で、「稲佐山公園動物ひろば」は最終的には廃止の方向で取組むとの提言があり、本市として廃止に向け対応を図っている。しかし、廃止に向けては相当の期間を要するので、その間猿や鹿は市民の皆さんに変わりがなくかわいがっていただけるよう適切な対応をしていく。

また、猿舎や鹿舎の場所が良く分かるよう、公園内の主要な箇所に案内看板や、動物の生態などの説明板を設置する。なお、猿舎については、子供たちにとって猿が見づらいので、新たな踏み台を設けるなど検討していく。

者と協議をして詰めていく。

(3) 公共施設を利用して、調理教室など子供たちを主役としたいろいろな形の体感的な経験のメニューづくりを、地域の皆さんと一緒に考えていく。

【質問3-1】

長崎市は「住宅用火災警報器」の設置義務について、新築住宅は平成18年6月1日からスタートし、既存の住宅は平成21年6月1日まで3年間の設置猶予期間を設けた。特に、既存の住宅は各家庭によって場所、種類、個数も違っているが、このような問題をどのように周知させ、全世帯に取付けさせっていくのか。

《答弁》(消防局長)

住宅用火災警報器の設置場所は、寝室や寝室のある階の階段の天井部分や壁などに取り付ける。なお、火気を扱う台所については、設置の義務はないが、できるだけ設置するよう指導していく。

設置促進については、各種講習会や訓練、また、自治会要望に応じて説明会などを開催したり、ホームページ



廃止が決まっている稲佐山公園の鹿舎と猿舎

【質問1-2】

「長崎公園動物ひろば」の飼育動物は、減少の一途のあるが整備計画がまったく行われていない。今後、「長崎公園動物ひろば」をどのように充実させていくのか。

《答弁》(道路公園部長)

「長崎公園動物ひろば」は、「市民にいいことや癒しを与えており、存続は必要不可欠でその充実を努めるべきである。小動物等とふれあいの場として、時間を設定して開放し観察、教育に役立てる対策を講じる」との答申がある。  
動物は人とふれあうことにより大



6月1日から設置が義務づけられた住宅用火災警報器

シや広報誌への掲載、テレビ、ラジオ等のメディアを活用するなど、あらゆる機会に制度の周知徹底を行い、住民皆さんの理解と設置促進に努める。

【質問3-2】

住宅用火災警報器の設置にあたり、独居高齢者で要介護状態(弱者)など、自力で移動が困難な高齢者宅へ市からの助成を考えられないか。

《答弁》(伊藤市長)

要介護状態(弱者)など、自力で移動が困難な高齢者宅に設置することは、隣人宅など周囲に知らせる事が肝要である。火災警報機設置も含め弱

変ストレスがかかる、人間に対して馴れさせる訓練等が必要で、動物の状態を細かく観察しふれあう時間を調整し、また安全対策なども必要である。まずは、匹のウサギで、現行の施設を活用したふれあいの場の設定ができないか検討したい。



長崎公園動物ひろば

【質問2-1】

「子どもを守るネットワーク活動」の所管が新設、「こども部」へハットンタッチしたが、2年目を迎えた本事業も更なる内容の充実が大切だと思うが、今後「子どもを守るネットワーク活動」の将来像は。

者の皆さんをすべての面で見守っていくか、市として包括支援センターを中心として早急に取り組んでいく。

【質問4-1】

矢上大橋有料道路の無料化について、長崎市は県に対し早期無料化に向けた働きかけをおこなってきたが、先般の県知事選で金子知事が、「矢上大橋有料道路の無料化に向けて市のほうへ申し入れたが断られた」との発言があったが、県からの打診内容と市の対応を伺いたい。

《答弁》(都市計画部長)

昨年3月に長崎県より本市対し通行料金の無料化に関し、財政支援の意向の照会があったが金額について具体的な数値はなかった。  
本市は、「無料化効果の認識はあるが、厳しい財政状況の中で財政負担は現時点では困難である」との回答をおこなった。しかし、無料化実現は地域住民の強い要望や、交通混雑緩和の効果が非常に期待できるので、今後とも機会を捉えて無料化の協議を行なっていく。